

アンカーニュース

マンション市場動向

民間の不動産経済研究所が発表したマンション市場動向によると、8月の首都圏マンション発売戸数は3274戸で前年比40.5%減で2カ月ぶりの減少となりました。減少幅としては97年9月のマイナス43.7%以来の大きなもので、前年8月の水準が高く、その反動が出たことなどが要因となっています。8月の首都圏のマンション契約率は77.3%で、80%割れは3カ月ぶりとなります。

同研究所では、8月の供給を5000戸程度と予想していましたが、それを大きく下回りました。特に東京都区部での発売が71.8%減少したことが影響した模様です。

8月の大幅減少については、昨年8月の反動が考えられ、昨年8月の発売戸数は5498戸と（前年比12.7%増）と、8月としては過去最高でした。また首都圏では地価の上昇傾向を受けて、マンション価格の先高感がみられますが、デベロッパーが販売計画を後ろ倒ししている面があるとみられています。売り惜しみ傾向も「無いとは言えない」（同研究所）とのことです。

同研究所では、今年の首都圏の供給見通しを8.5万戸としています。達成については「不可能に近い」としています。ただ実際に見通しを修正するか否かについては、9月の統計を見た後になるとのことです。



発行者

合同事務所 アンカー

(司法書士・土地家屋調査士・行政書士)

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目 21 番 4 号

新日本ビルディング赤坂 4 階

TEL 03-5575-3458 FAX 03-5575-9385

担当：朝比奈